

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	<b>基礎知識・理論コース</b>										
2	<b>A インテリアデザインを豊かにする知識(1)</b>										
3	モジュール番号	第 回 授業	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
4	A	1	1	入学ガイダンス	カリキュラム、学習方法とルール	1	スケジュール	コースルール	カリキュラム紹介		
5	A	2	1	英国のインテリアデザインマーケット	デザインマーケットとプロの活躍	1	ロンドンの世界デザイン市場における位置付け。なぜロンドンが経済学的に重要なのか。	インテリアデザイナーがなぜ存在し、なぜ重要な職業なのか。その歴史は。BIIDデザイナー連のビジネスモデル。どうして市場を牽引できる集団なのか。トップデザイナーの役割。	コースが目指すものインテリア市場の拡大ガラバゴスインテリアからの脱却	日本でもセオリーを理解し、スキルを持ち、作品で勝負できる本物のセレブデザイナーを	
6	A	3	2	デザインプロセスの理解	BIIDデザイナーが主導的役割で行うプロジェクトとプロセスの理解	1	デザインプロセスの理解	プロとしてどのように伝えるのか。デザインプロセスを共有することの重要性。	クライアントとしてどう理解するのか。クライアント視線からの理解。		
7	A	4	2	英国のインテリアデザインマーケット	インテリアデザイナー、建築家、プロの協業の在り方	1	英国におけるプロの協業の実態とその有効性に関する理解	なぜ協業で素晴らしい家ができるのか	日本で協業の可能性を広げるための職能と職域	クライアントの立場で最もふさわしい協業の在り方を知る	
8	A	5	3	デザインの種	デザイナーとしての知識と眼を磨く	1	デザインはどこから来るのか、デザインの種の幅広さを知る	真似ごとでなく、何々風でなく、本物を目指す重要性	デザインの軸、デザインの幹を作る手法で、揺るがない大木を開花させる	デザインの領域を広げる手法。雑誌、ウェブ映像を素材に。	デザインコンセプトの重要性と実際、その作り方
9	A	6	4	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	歴史チャートから読み取るもの。なぜ全方位的な歴史理解がインテリアに必要なのか。	ギリシャ	ローマ	初期キリスト教	ビザンチン
10	A	7	5	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロマネスク	ゴシック	ルネッサンス	バロック	
11	A	8	6	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロココ	新古典主義	エンパイヤー	リージェンシー	
12	A	9	7	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ゴシックリバイバル	折衷主義	ヴィクトリアン		
13	A	10	8	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	アーツアンドクラフツ	アールヌーボー	キュビズム	アールデコ	
14	A	11	9	デザイン史	源流史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	モダニズム	ミッドセンチュリー	ポストモダニズム	20世紀家具の系譜	
15	A	12	10	ジャポニズム	ジャポニズムと日本美術、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本デザインの歴史的評価	ジャポニズムの誕生	近代から現代における日本デザインの世界への影響	Zenデザインの欧州での発生と発展、その系譜	現代の日本人デザイナー連の世界での活躍
16	A	13	10	ジャポニズム	ジャポニズムと日本美術、伝統工芸のデザインにおける応用	1	日本の伝統工芸の理解	伝統工芸のインテリアにおける可能性	自らのプロジェクトにどう生かすか	伝統工芸を訪ねる	伝統工芸使用例研究

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
17	<b>基礎知識・理論コース</b>										
18	<b>A インテリアデザインを豊かにする知識(2)</b>										
19	モジュール番号	第 回 授業	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
20	A	14	11	デザインとサステイナビリティ	欧州で重視されるサステイナブル、サステイナビリティを理解	1	サステイナブル理論の基礎。	インテリアデザインへの応用とは。	トレンドに見るサステイナブル事例研究	サステイナブルをキーワードに、豊かな暮らしを取り戻そう。	日本の伝統工芸のサステイナブルな発展へ
21	A	15	11	デザインとサステイナビリティ	オリンピックレガシーとデザイン産業、デザインディストリクトの隆盛。	1	ロンドンオリンピックが市場の拡大にもたらした真のレガシーとは。	デザインディストリクトの発展により、サステイナブルタウンが誕生。その意味とは。	ライフスタイルの転換。働き方のドラマティックな転換が起き、新たな家具市場が創造されていた。	事例研究、質しいロンドンイースト地域のデザイン震源地への大転換。	文化の再興とオリンピックの大きな関連性。日本でもオリンピックをインテリア産業発展の契機に。
22	A	16	12	ホテルが牽引するデザインマーケット	ホテル専門家でもある薄山乃莉子がロンドンのホテルデザインを徹底分析	1	ロンドンで生まれたホテルデザインの2大潮流とは。	ブティックホテルの派生と発展。ブティックホテルが生まれる都市こそがデザインの震源地。	ロンドンキーホテルのデザイン分析とそこでのセレクトデザイナー達の挑戦。	日本でのブティックホテルの可能性と、デザイナーが果たす役割。	ブティックホテルデザインが日本の住宅インテリアを変えていく。
23	A	17	13	インテリアトレンド	欧州インテリアトレンドの理解	1	欧州インテリアトレンドのダイナミズム	インテリアトレンドの重要性と意味	インテリアトレンドを眺む トrend分析プロセス	トレンドをどう自らのデザインに取り入れるか	スタイルを表現する形容詞等
24	A	18	14	インテリアトレンド	欧州インテリアトレンド分析	1	インテリアトレンド分析 Paris	インテリアトレンド分析 Milan	インテリアトレンド分析 London		
25	A	19	15	デザインスタイル	近年人気のスタイルの理解	1	エクレクティクスタイル	インダストリアルスタイル マスキュリンスタイル	シャビーシックスタイル 雑系スタイル	エスニックスタイル Nomadoスタイル	
26	A	20	16	ライフスタイルデザイン	ファッションとインテリアの関連性の理解	1	ファッションとインテリアのトレンドや時代への関連性	ファッションレーベルのインテリアへの進出	ライフスタイルブランドとしてのインテリアアプローチ	ファッションレーベルのマーケティングから学べるもの	
27	A	21	16	アートとトレンド	欧州デザイン市場におけるアートのトレンド	1	欧州アート市場のダイナミズム	アートにおけるトレンド	なぜアートが重要か。アートなしでは空間は完成しない。	アートが作り出す様々な空間	
28					コマ数	26					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
29	<b>基礎知識・理論コース</b>											
30	<b>B</b>	<b>インテリアセオリー(1)</b>										
31	モジュール番号	第 回 授業	エリア	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4		
32	B	1	17	空間の理解	最も基本となる空間への理解	1	インテリアセオリー セオリーとは何か。なぜ重要か。	洋の空間と和の空間の根本的な違いを理解する	洋空間の基礎理論 洋空間をどう作るか	間違いだらけの洋空間理解	美しい洋空間を知る。事例研究	
33	B	2	18	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル	1	英国のスタンダード間取りとレイアウトの意味。タウンハウスには、優れたセオリーが凝縮する。	住宅とライフスタイル (パブリックとプライベート、フォーマルとファミリー空間の考え方と関連性)	レイアウトセオリー アプローチ、エントランスホール、階段、廊下、フォーマルリビングルーム、ダイニングルーム	レイアウトセオリー キッチン。食生活を中心としたファミリールーム	空間とレイアウト バスルーム、寝室とオンスイート、ゲストWC	
34	B	2	18	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル 事例研究	1	マンションモデルルーム空間変換事例研究					
35	B	4	19	色	色彩 基礎と応用	1	色彩と空間の基礎理論	色彩の歴史と文化。歴史色に現れる色彩の地理的認識の違い。気候条件と色彩。	理論を外したところに真の実力が見える 色彩の応用。英国デザイナー達の挑戦。	カラーとトレンド。過去のトレンドレポートに見るトレンドカラーの変遷	色彩と年齢。それぞれの年齢条件により検討すべき項目が違ふ。	
36	B	5	19	色	色彩 事例研究	1	色彩事例にみる各色のパフォーマンス (赤、青、緑、黄色、アースカラー、金、銀、モノクロ他)	各色における事例研究。過去事例から、本当に使える色彩導入を研究。				
37	B	7	20	ソファファニシング	ソファファニシング	1	ソファファニシングの重要性と基礎。アイテムとバランスの理解	窓周りのセオリー	寝室のソファファニシングセオリー	Jビングでのソファファニシングのセオリー	様々なテイストの可能性を実例研究	
38	B	6	21	照明	照明の効果	1	照明の基礎理論	照明とマテリアルの関連性	照明の上級テクニックと世界の照明機器へのアクセス	窓の形状、自然光の採り入れ方と照明手法のバランス	照明の実例研究	
39	B	8	22	マテリアル	ハードマテリアル	1	マテリアルの重要性	マテリアル、ペイント	マテリアル 床材 (木質系、タイル系)	マテリアル キャビネット面材	世界のトップデザイナーはマテリアルづかいも特別。マテリアルの事例研究	
40	B	8	22	マテリアル	ソフトマテリアル	1	マテリアル、カーペット	マテリアル、壁紙がつくり出す豊かな世界	壁紙の歴史と発展	重要メーカーの理解	震災復興壁紙プロジェクト 壁紙アートプロジェクト その意義と活動の重要性	
41	B	9	23	家具	家具	1	家具の構造の理解 良い家具の見分け方 米VS欧 ラインの見極め方	欧州、家具の歴史と派生まとめ	家具と道具の使い分けで空間はもっと深みあるものに。収納 見せる収納と隠す収納	イタリアがなぜ世界の大家地になり得たのか。イタリア高級メーカーの2大潮流。世界的メーカー研究	家具の見極めのためには源流から。本物を見ることがの重要性。日本にも家具美術館を。	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
42	<b>基礎知識・理論コース</b>										
43	<b>B インテリアセオリー(2)</b>										
44	B	9	23	建具	建具	1	インテリアセオリー 建具	建具の領域と可能性	建具のスタイルとデザインスタイルの関連性	建具におけるディテールの作り方	英国のトップデザイナーの作り出す建具デザインの世界。実例研究。
45	B	10	24	アンティークとヴィンテージ	アンティークとヴィンテージ、エイジング手法	1	インテリアセオリー アンティークとヴィンテージアイテムが作り出す豊かな世界	コンテナポラリー空間といかに合わせるか	アンティークとヴィンテージを持つことの意味	サステイナブルと修復、修繕、次世代に引き継ぐために	時代をエレクトリックに合わせる テクニックと事例研究
46	B	11	25	フィニッシングタッチ	アクセサリーとフィニッシングタッチ	1	インテリアセオリー フィニッシングタッチとスタイリングのセオリー	アートクオリティを誇る欧州のラグ市場、そのダイナミズムとデザインにおける事例研究	インテリアにおける鏡の効果と重要性、そのダイナミックな使用例	テーブルトップコーディネーションの奥深い世界とその理解の必要性。食とライフスタイル。	フラワーアレンジメント、本、観葉植物、香り、映像と音楽など、暮らしを彩る仕掛けへの理解
47	B	12	26	写真	写真撮影とスタイリング	1	プロによる写真撮影の重要性と、撮影現場におけるインテリアデザイナーの役割の理解	インテリア写真の基本テクニックを事例をもとに研究	悪い例をあげて紹介。こういう写真は掲載してはいけない	写真修正の基本テクニック	ビューとしてインテリアを撮ることの重要性。スタイリングメンタリティが家を美しくする
48	B	13	27	デザイナーとしての知識と眼を磨く	特別な商材を見つける	1	ストーリーを持つ商材が入るとどうデザインが発展するのか	メーカー研究とトレードアカウント	欧州一流メーカー	ロンドンの超一流メーカーの理解	ロンドンの魅力 ここは訪ねたい 情報はこう仕入れた
49	B	14	28	英国の住宅市場	家の歴史と人々の暮らし	1	英国の歴史建築とその保護の在り方。なぜそこまで古いものを大切にするのか。	英国人にとってのインテリアとは。なぜここまで情熱を傾けるのか。	住宅の寿命が延びた時、市場がどう変化するのか。	英国の建築の基本的理解	古い建築のリノベーションに関する基本理解
50	B	15	29	コースレビュー	初回での問題提起を振り返る	1	コースレビュー	住宅政策による市場拡大の事例、イタリアとイギリスの成功例。	戦後の住宅政策が作り出した日本の間取りとインテリアの悲劇	なぜモダニズム建築だけが規範となつてしまったのか。	
51	B	16	29	日本の住宅市場の未来へ	日本の現状をチャンスとして	1	ライフステージによるインテリア。人生と共に成熟させるインテリアの重要性。	リノベーション、リフォームにおけるインテリア投資とその効果。	オリンピックを文化と伝統を見直し、サステイナブルインテリアの契機と考える。	インバウンドと民泊が作り出す新たな家を使ったビジネスモデル。	ライフスタイルデザインをキーワードにすることで生まれる広範囲の需要。
52	B	17	30	BIID日本支部設立	BIID日本支部設立とその意義	1	BIID日本支部設立までの歩み	支部設立により目指すもの	行動目標と計画		
53					コマ数	14					
54				基礎部門	総コマ数	40					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
55	プロコース										
56	C	スキル&キャリアビルドアップ									
57	モジュール番号	第 回 授業	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
58	C	1	1	デザインコンセプト	デザインプロセスの理解	1	顧客からの要件とリサーチ	デザインコンセプトの立て方	デザインデベロップメント	デザイン表現方法	パワーポイント フォトショップを活かしたプレゼン
59	C	2	2	プロジェクト手順	BIDDデザイナーのプロジェクトプロシジャーの理解	1	プロジェクトプロシジャー	プロジェクトコーディネーション	クライアントとの理解の共有	世界で働くために重要な、世界的なインテリアデザイナーの職域職能の理解	プロとのコラボレーションをチャート化することで理解、共有。
60	C	3	3	インテリア協会とデザイナー	プロを取り巻く環境	1	英国の活発なプロ市場とその歴史デザイナーの社会的地位の変遷	インテリアデザイナーとBIDD	デザイナーとしての成長を遂げることの重要性	プロとしての社会的責任と役割	BIDD日本人メンバーの会の活動
61	C	4	3	プロチーム	プロフェッショナルとの協業	1	建築家とRIBA	建築家とインテリアデザイナーの協業環境の重要性	プロジェクトにおけるチームアップとチームワーク	デザイナーをとりまくプロフェッショナル達の仕事の理解	
62	C	5	4	法規と法令	インテリアデザイナーと法令、保険	1	インテリアデザイナーの職域と責任	法規、法令の理解と遵守	保護建築物と認可	英国の建築工法の基礎的理解	
63	C	6	4	契約と保険	契約プロセスとアドミン	1	契約、デザインフィーと請求方法 デザインフィーの考え方	基本ジョブ&ショッピングリスト (Scope of works) の初期段階での作成の必要性	インテリアデザイナー用の保険への理解とその整備の必要性	日本のデザイン業界における奴隷労働の実態と、根絶のための取り組みの必要性。	情報公表契約の必要性
64	C	7	5	見積もり	見積もりと手配事項の理解と実践	1	商品購入におけるリテイラーとエージェントの違いの理解	見積もり(テンダー)のプロセス テンダーパッケージの作成方法	FF&Eショッピングリストの作成	業者からの見積もり	業者へのオーダー、間違いなくオーダーするための手法、オーダーチェイスの重要性
65	C	8	7	現場	現場におけるインテリアデザイナー役割と遂行	1	サイトミーティング、議事進行と議事録	現場への各指示書と作成方法 (ペイント、マテリアル、ソフトファニッシング等)	現場で信頼されるデザイナーになるために		
66	C	9	7	保証とアフターケア	インテリアデザインのメインテナンス	1	現場確認、完成確認、修正 (Snagging List)	インテリアの保証とメインテナンス	デザインインストラクションの作成によりデザインメンテナンスを容易に	デザインブックの効果	
67	C	10	8	テクニカルデザイン	図面作成とデザインデベロップメント	1	インテリアデザイナーが扱う図面の種類とその理解	図面のやり取りの方法と情報共有システム	クライアント用図面と建築図面の違いを理解する	プラン(平面図)のデベロップメントとプロセスの重要性	プラン展開の可能性、同じマンションでも間取りの可能性は百通りもある。
68	C	11	9	テクニカルデザイン	設備 冷暖房	1	冷暖房システムとインテリアの基本的な考え方	寒さと戦ってきた西欧の住宅から 暖房システムに学ぶことは多い。事例紹介。	暖かさやゆめを反映するデザイン		
69	C	12	9	テクニカルデザイン	テクニカルドローイング	1	照明デザイン図、電気配線図	暖房、エアコン等の設備図	ドア、ドア窓枠、コーニス、巾木等の建築要件デザイン図	デザインディテールへのこだわりの重要性	
70	C	13	10	テクニカルデザイン	テクニカルドローイング	1	キッチンデザイン図	バスルームデザイン図	造作、キャビネットデザイン図	家具デザイン図	
71	C	14	別途	テクニカルデザイン	2D 3D基本	1	2D基本スキル+L52(別料金)	3D基本スキル(別料金)			
72					コマ数	14					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
73	プロコース										
74	D	ビジネス構築									
75	モジュール番号	第 回 授業	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
76	D	1	11	プロのビジネスモデル	英国で成功するプロの活動を分析	1	成功する英国のデザイナー、ロールモデルを分析	誰がクライアントなのか、クライアントはどこにいるのか。なぜ世界がクライアントになるのか。	英国セレブデザイナーに学ぶビジネスモデル	成功のために、どんなキャリアとスキルを積むのか	社会活動とボランティア活動が真に一流のプロを作る。
77	D	2	11	プロとしての自分の資質を理解する	キャリアアセスメント キャリア開発プログラムから、ビジネス構築へ向けて。	1	キャリアアセスメント手法とその実践	キャリア開発プログラムとそのプランニング。デザイナーとしての商品の可能性を高める	ビジネス戦略の構築	自己目標、キャリアプランの作成	自宅かオフィスかショップか。
78	D	3	12	プロとしての領域を拡大する	ビジネスの可能性を、インテリアを核に広げる。その方向性と手法。	1	デザイナー特有の商環境におけるリスクヘッジと多角化の必要性	開発プログラム(中古住宅やマンションをデベロップメント)	著作、セミナー、講師	お教室で顧客拡大	アートディレクションの可能性と勉強の方法
79	D	4	12	世界の有力顧客を手に入れるために	セレブ顧客のライフスタイル、資産運用の実態を知らなければ、その家のデザインはできない。	1	1000㎡超えの家が当たり前になるように。内包する要件とライフスタイル。	資産形成とインテリアの関連。ポートフォリオ形成にデザイナーは深く関与する。	資産としてのアート、ワイン、不動産等の基本的理解		
80	D	5	13	マーケティング	成功するプロのマーケティング手法を知る	1	インテリアデザイナーにとってのマーケティングとは	セルフプロモーションの重要性	マーケティング手法の種類と効果	SNSを使ったマーケティング	ウェブ研究 リサーチの重要性と実際
81	D	6	13	ブランディング	デザインを広げることで自分を広げよう	1	今までのデザインを振り返る	デザインの冒険がデザイナーとしての幅を広げる	マーケティングツールとしての、自らのデザインスタイルを確立する	デザイン冒険の実践、トライ&フェイルがデザイナーとしての幅を広げる	デザイン拡張演習
82	D	7	14	ブランディング	ブランディングレッスン	1	ブランディングレッスンの手法の理解と実践	デザインプレゼンテーション製作の必要性	ポートフォリオ製作手順と実践		
83	D	8	15	デザイナーとしての知識と眼を磨く	世界のメーカー トレードアカウントによる商材購入	1	本場の商材の理解	メーカー研究	トレードアカウントビジネスを開始する	商材マッチング練習	海外からの商材調達方法と注意事項。リスクヘッジの方法。
84					コマ数	8					
85				プロコース	総コマ数	22					